

1 教育目標

『豊かな人間性を身につけた心身ともにたくましい生徒の育成』

2 経営方針

教育目標の具現化に向けて、教職員の信頼と協働のもと、生徒にとって学びがいのある学校、教師にとってやりがいと切磋琢磨できる学校、保護者と地域から信頼される学校づくりを实践する。
学校づくりを推進するにあたって、教育活動の实践と充実を図るため、次の5項目を学校経営の基底とする。

- (1) 生徒を原点とした教育活動をめざす・・・・・・・・すべては「生徒のために」
 - (2) 計画的・組織的な教育活動をめざす・・・・・・・・計画は緻密に、全職員で実践
 - (3) 情報の共有と行動の連携を図る・・・・・・・・報告・連絡・相談・確認・記録
 - (4) 教育の専門性や指導力を高める
 - (5) 保護者や地域との連携を図る
- ・・・・・・・・「チームとしての学校」

3 経営の重点

- 1 確かな学力を育む授業づくりに努める。
- 2 豊かな心を育み、自己有用感を高める。
- 3 希望と自信を育みながら、活気あふれる学校をつくる。
- 4 保護者・地域からの信頼を基盤とし、「チームとしての学校」づくりを推進する。

4 努力事項と具体的施策

1 授業を通じて、学力の定着を図るための指導方法及び指導内容の改善を図る。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを進める。 ・「一授業 一手間 一工夫」を实践する。 ・生徒による授業評価を活用し、授業改善を図る。
2 特別な支援を必要とする生徒に対応するため、校内支援体制を整え、計画性のある個に応じた支援を展開する。	・個別支援計画を充実させる。 ・特別支援学級と協力学級との連携を強化する。 ・指導内容・方法の研修を深め、指導に生かす。
3 支持的学年・学級づくりに努め、生徒一人一人の自己有用感を高める。	・心の居場所づくり、絆づくりをめざした学年・学級経営をする。(QUテストの活用) ・道徳の時間を要として、心の教育を充実させる。 ・凡事徹底(あいさつ・返事・清掃・時間を守る)の推進。 ・奉仕活動や体験活動を通し、奉仕・協力の心を育てる。
4 善悪の判断、社会的な規範意識を育て、いじめや非行、暴力行為等を絶対に許さない学校文化をつくる。	・生徒との対話を重用し、生徒の心に寄り添った支援に努める。 ・人権教育を推進するとともに、いじめの根絶をめざし組織的に対応する。
5 自然災害への対応、交通事故防止に向けた指導を徹底する	・防災意識を高める各種訓練を実施する。 ・危険箇所や危険行為の把握のため、地域との情報交換を積極的に行う。
6 生き方指導、キャリア教育としての進路指導を实践する。	・3年間のキャリア教育を見通した指導計画の作成と、組織的・継続的な指導を行う。 ・体験的な活動を通し、人間としての生き方を理解させる。
7 特別活動の实践を通し、生徒の自主性・自律性及び学校への帰属意識を高め、活気あふれる学校づくりを展開する。	・生徒会が自主的・自律的に活動できる機会を確保する。 ・魅力ある学校行事計画を立て、实践する。 ・適切な部活動の指導を運営による心身の健全な育成を図る。
8 学校が有する人材、PTA組織、地域力を活用し、「チームとしての学校」体制づくりを推進する。	・学校行事の公開、地域行事への参加、各種地域会合等を通して情報を発信し、「開かれた学校」を推進する。
9 教職員一人一人が責任と使命感を自覚し、信頼される学校づくりに努める。	・「報告・連絡・相談・確認・記録」の徹底を図る。 ・学校コンプライアンス推進委員会の機能を生かし、信用失墜行為の撲滅を図る。 ・学校課題研究を通し、職員研修を推進する。